

ウミガメ学習会

5月から8月にかけて高知海岸にはアカウミガメ(以下、ウミガメ)が産卵にやってきます。高知市立春野東小学校ではウミガメの勉強に取り組んでいます。四年生の皆さんがウミガメ学習会を開催するので高知海岸出張所も参加して来ました。

平成26年5月1日(木) 春野東小学校(体育館)



ウミガメ保護活動をしている熊沢佳範さんです。春野東小学校との付き合いも長くなってきました。

クラスごとに代表者がウミガメの疑問質問をあげていきます。



四年生 「ウミガメの好物は何ですか？」

熊沢さん「高知海岸にやってくるのは、アカウミガメという種類です。おもに甲殻類の蟹やエビ貝などを食べます。南の方で見られるアオウミガメは海藻などを食べます。」

四年生 「ウミガメは何分潜っていられますか？」

熊沢さん「子ガメは水面で浮いて過ごしてます。大人になると2～3時間は潜ってられる。けど、ウミガメはみんなと同じ肺呼吸なので苦しくなったら息継ぎをしないと溺れて死んでしまいます。」

四年生 「1回に何個の卵を産みますか？」

熊沢さん「平均すると100個前後産みます。昨年一番少なくて38個がありました。」



鳥と一緒にポーズやってみよう



一生懸命メモしています

四年生 「ウミガメはどんな泳ぎ方ですか？」

熊沢さん 「手(ひれ)を動かして泳ぐ。一番分かりやすいのは鳥が飛ぶように泳ぎます。」

四年生 「どうしてウミガメを保護しようと思ったんですか？」

熊沢さん 「良い事聞いてくれた！！昔、釣りに行ってたまたまお母さんカメを見つけた。その時は産卵できずにさまよって海へ帰ってしまった。その姿を見た時に、これはどうしても産卵出来る環境をつかっていきたいと思ったからです。あのカメに頼まれた気がしたからかな。」

四年生 「ウミガメの研究をして楽しいですか？」

熊沢さん 「みんながウミガメの事を聞いてくれる事が一番楽しいです。まだウミガメの生態は分からない事が多いので日々勉強になりますが、みんなと一緒に勉強していきたい。」

最後の質問、熊沢さんが一番の笑顔で答えた姿が印象的でした。